国際交流ひろば 10月号
KAGOSHIMA INTERNATIONAL ASSOCIATION NEWS
VOL.237/October 2020

台湾
文化紹介講座
～台湾花布から見える台湾の世界～

11月1日（日）10:00～12:00

※10月1日（木）申込受付開始

参加費無料（小学生以上でしたらどなたでもご参加いただけます）

会場：かごしま県民交流センター東棟３階　大研修室２
定員：30名（先着順・要予約）※定員になり次第，募集は締切ります。
講師：黄　敬蓉　氏（台湾文化交流会）
申込方法：お名前・電話番号・年齢をご記入の上，下記メールアドレス
または，お電話にてお申込みください。

「台湾花布（たいわんかふ）」とは？

台湾の伝統的な布地のことで，赤やピンク，青等の色をベースに，花模様が描かれています。
この講座では，台湾花布や台湾先住民に触れ，台湾の魅力をご紹介します。また，台湾花布を使った簡単な小物づくりも行います。

※新型コロナウィルス感染症拡大予防のため，●手指の消毒 ●マスクの着用●体温の測定（37.5℃以上の発熱がないことを確認）をお願いいたします。
なお，お申込みいただいた講座は，やむを得ず中止や変更になる場合があります。ご了承ください。

［申込み・問合先］公益財団法人鹿児島県国際交流協会
TEL　099-221-6620　URL https://www.kiaweb.or.jp　Email　kia7@kiaweb.or.jp（担当：酒井）

おやっとさぁ！国際交流員です！

金　孝真（キム　ヒョジン）韓国出身

皆様，こんにちは。

鹿児島には，街路樹としてヤシの木が植えられていますね。韓国でこのヤシの木が見られるスポットといえば，韓国最南端に位置する済州島(チェジュ島)が唯一ではないかと思います。済州島は，私の兄が数年前ソウルから移住した地域で，度々訪れています。金浦(キンポ)国際空港で済州行きの飛行機に乗り，約 1 時間のフライトで済州国際空港に着くと，トロピカルな雰囲気あふれるヤシの木が訪れる人々を歓迎してくれます。そのような面で，どこか似ている鹿児島と済州島ですね。本日は，韓国最大の島である済州島についてご紹介したいと思います。

まず，両地域とも温暖な気候に恵まれています。2019 年の年間平均気温を見ると鹿児島は 19.4 度位，済州島は 17.1 度位でした。この気候の特徴が「食」にも影響を及ぼし，両地域の食べ物は似ている所が多いです。鹿児島の食としてまず思い出すのが「かごしま黒豚」です。昨年 4 月に来鹿し，初めて黒豚を食べた時「豚肉なのにさっぱりとした味がするんだな」と感動した記憶があります。

黒豚は，済州島でも長年にわたり飼育されてきました。高句麗(紀元前 1 世紀頃 －668 年)時代に中国北部地域から由来したものが済州島へ伝わり，土着化されたのです。

また，皆様は「メルジョッ」というタレをご存知ですか。「メルジョッ」とは，イワシの塩辛です。済州島には，黒豚に魚ベースのタレをつけて食べる習慣があります。魚の臭みが気になる方もいらっしゃると思いますが，一度食べたらメルジョッならではの独特な風味がクセになるかもしれません。

そして，黒豚以外にもミカンやお茶，落花生等が特産品として有名です。特に済州島は，韓国ミカンの発祥の地で，全国生産量の 99%を占めています。そのため，昔から済州島では，このミカンを原料としたマッコリが愛されています。日中韓サミットで乾杯酒に使われたことをきっかけに一層有名になりました。爽やかな味わいで，若い女性に好かれていますね。

食べ物の他に，自然においても似ている所があります。

屋久島は，白神山地と同時に日本初の世界自然遺産に登録され，日本にある世界自然遺産の中で一番知名度が高いと思います。韓国では特に，ジブリ映画「もののけ姫」の舞台になったことから有名になり，多くの韓国人が訪れています。

一方，韓国の世界自然遺産といえば，2007 年に登録された「済州火山島と溶岩洞窟」が唯一で，それだけに誰が見ても納得できる美しい島だと思います。

火山活動により生まれた済州島は，島全体が火山博物館と呼ばれるほど独特な地形を誇り，地面には 368 のオルム(側火山の済州語)が横たわり，地下には 160 の溶岩洞窟が散らばっています。

自然豊かで，独自の文化や風習が数多く残されている済州島は，私にとって癒しのスポットです。私が今鹿児島に馴染み，楽しく生活できているのも，もしかするとこういうところが似ているからかもしれません。

行けるようになったら，皆様もぜひ訪れてみてください！

【クァンチギ海岸から望む城山日出峰】

鹿児島県から出発した JICA 青年海外協力隊員は現在およそ 900 名。今回はその一人として 2018 年 6 月にインドネシアへ派遣された、松井裕之(まつい・ひろゆき)さんの活動を紹介します。

【インドネシアの国旗】
赤は勇気や情熱を、白は真実や清らかな心を表すと言われている。

＼かごんま出身／

～帰ってきた青年海外協力隊員～

派遣国:インドネシア×職種:水泳

熱帯の国インドネシア。首都ジャカルタは東京から南に約 5800km，飛行機で 8 時間ほどの位置にあります。ここには東南アジア諸国連合(ASEAN)の本部があり、2018 年にはアジア大会が行われました。インドネシアには世界第4位の 2 億6千万人が生活し、東南アジアの中心国として発展し続けています。

図 1. インドネシアの首都ジャカルタの様子

日本語習得者数が中国に次ぐ世界第二位と日本語学習者が多く、ワンピースやナルト、ドラえもんといった漫画やアニメもインドネシアで大人気です。またジャカルタには日系企業も多く、車やバイクもトヨタやホンダ、スズキ等の日本車が多く走っています。

私はジャカルタの GBK スタジアムで毎朝4時から中高生に対して水泳を教えていました。インドネシア人は早寝・早起き。インドネシアの小・中学校は朝7時から始まり午後2時に終わるところがほとんど。そのため水泳の練習も早朝から始まります。私は毎週4つのスイミングを巡回しながら水泳の基礎練習やインターバルトレーニング、ときにはインドネシア代表を指導しながら日本式のトレーニングをインドネシアに導入しました。

図 2. インドネシア人スイマー達の様子

2020 年 1 月に 30 名のインドネシア人が鹿児島を訪問しました。約2週間で県内3カ所(鹿児島市、日置市、鹿屋市)を訪問し、述 200 人以上の青少年と交流しました。また鹿児島県選抜水泳選手とも合同練習を行い、技術・体力の増進に努めました。水泳選手間の交流は現在も SNS を通じて続いています。

図 3. 鹿児島県水泳連盟国際スポーツ文化交流事業

水泳という共通言語が私とインドネシア人の心を繋ぎ、毎日コーチ・スイマーとコーヒーを飲み笑い同じ目標に向かって辛い練習に取り組みました。現地の方と共に生活し課題解決を図った2年間はかけがえのない経験です。インドネシアにできた多くの友人たちとの交流を継続し、鹿児島のファン、インドネシアのファンを両国で増やし続けたいです。

図 4. GBK スタジアムでの松井隊員の様子

韓国・全羅北道 文化講座

１１月１日（日） 13：30～16：00

場所：かごしま県民交流センター
東棟４階 工芸室

講師：（全羅北道から Zoom で参加）
全羅北道国際交流センター
※講座内容は日本語で通訳します

第１部　全羅北道の紹介
「韓国の中の韓国」と言われる全羅北道についてご紹介します。

第２部　ワークショップ開催！
韓国の伝統的な紙を使ったトレーづくりを体験！

対象：小学校４～６年生の児童とその保護者（２人１組）
服装：接着剤を使うので汚れてもいい動きやすい服
参加費：無料　/　定員：１１組（２２名）※先着順
申込み方法については，規定の申込み用紙がありますので，ホームページにてご確認ください。　申込締め切り：１０月２３日(金) 必着

TEL：099-221-6620　URL：https://www.kiaweb.or.jp　Email：kia8@kiaweb.or.jp（担当：向井）

外国人総合相談窓口

鹿児島にお住まいの外国人の方のための相談窓口です。生活,在留資格,労働,医療,福祉などで困ったことがありましたら,お気軽にご相談ください。

対応言語：日本語/英語/中国語/韓国語/ベトナム語/タガログ語/インドネシア語/ネパール語/クメール語/タイ語/ミャンマー語/ポルトガル語/スペイン語/マレー語/フランス語/ロシア語/ドイツ語/イタリア語/モンゴル語

鹿児島県国際交流協会内
TEL：０７０－７６６２－４５４１
E-mail：kiasoudan@gmail.com
Facebook

本誌・掲載内容に関する問合せ・申込み先

公益財団法人鹿児島県国際交流協会
（ 火曜～日曜　９：００～１７：００ ）
〒892-0816 鹿児島市山下町14-50
かごしま県民交流センター1階
Tel: 099-221-6620 Fax: 099-221-6643
URL: https://www.kiaweb.or.jp/
Email: kia@kiaweb.or.jp
Facebook: https://www.facebook.com/Kagoshima.Intl.Assoc

「国際交流ひろば」は，ホームページにも毎月掲載しています。ご自由にダウンロードください。